

令和4年度 第1回柿崎区地域協議会次第

日時：令和4年4月19日（火）午後6時～

場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 報告事項

- (1) 令和3年度地域活動支援事業の実績及び令和4年度応募状況について・・・資料1
- (2) 地域協議会会長と総務常任委員会との意見交換会の内容について
- (3) 柿崎空き家活かそうプロジェクト中間報告について・・・・・・・・・・資料2
- (4) 柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告について・・・・・・・・資料3 資料4

5 その他

- (1) 新潟県環境局資源循環推進課上越分室の開設について
- (2) 第1回地域協議会だより編集委員会の開催について
日 時：令和4年4月19日（火） 地域協議会終了後
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室
- (3) 第3回みんなの保育園を考える会会議の開催について
日 時：令和4年4月25日（月） 午後7時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室
- (4) 第16回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議の開催について
日 時：令和4年4月26日（火） 午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室
- (5) 第2回柿崎区地域協議会の開催について
日 時：令和4年5月10日（火） 午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

6 閉 会

令和3年度 柿崎区地域活動支援事業実績

資料 1

(単位:千円)

順位	事業の名称		団体の名称	事業内容の概要	提案額		採択額		実績額		備考欄
					事業費	補助希望額	事業費	補助金	事業費	補助金	
1	新規	音楽文化の醸成を図り地域を元気にする事業	自衛隊音楽隊in柿崎実行委員会	市民の音楽文化の醸成と地域活力の向上を図るため、航空自衛隊中央音楽隊を招聘し、柿崎総合体育館で演奏を披露した。また、中央音楽隊による柿崎中学校吹奏楽部の演奏指導並びに交流により、生徒の技術向上と意識の高揚を図った。	932	916	932	916	927	916	補助率1.0
2	2回目	坂田池園地桜植替え事業	柿崎観光協会	てんぐ巣病や高齢化で傷みが増した坂田池周辺園地の桜の植え替えを行うことにより、観光資源としての坂田池の景観を保持し、交流人口の拡大に寄与した。今年度は、てんぐ巣病に強い品種である「陽光」20本を植え替え、枯松4本の伐採・除去を行った。	913	821	913	821	909	817	補助率0.9
3	2回目	第4回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展	手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会	市民同士の交流を深めるとともに、ものづくりへの制作意欲の向上を図るため、柿崎区の寺院を会場に、9月17日から9月19日の3日間、ものづくりを趣味として制作している作品の作品展を開催し、609人が来場した。	368	270	368	270	368	270	補助率0.9
4	10回目	黒川・黒岩ふれあい事業	16ピース	黒川・黒岩地区に交流の場と活力を生み出すため、旧黒川小学校グラウンド沿いのフラワーロード整備等の環境美化活動と黒川・黒岩ふれあいまつりを実施した。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、黒川・黒岩ふれあいまつりは夜店、ステージイベントを中止し、花火の打ち上げを増やした。	1,739	1,000	1,739	1,000	1,653	1,000	補助率0.8
5	新規	柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」事業	柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」実行委員会	柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」を開催することにより、下黒川地区の活性化を図るとともに、下黒川地区の市民の親睦と融和を図った。夏まつりでは、デュオグループや担ぎ桶太鼓の演奏、打ち上げ花火のほか、来場者が大きな輪を作り十三夜を踊った。	726	725	726	725	712	711	補助率1.0
6	12回目	ドーム周辺花いっぱい事業	花うえの会	柿崎区を訪れる人の心のオアシスとなるよう、国道8号からかきざきドーム入り口までの350メートルの花壇にあじさいやシラン、ジャーマンアイリス、ガザニア、芝桜などの花を植え、施設周辺の環境整備を行った。4月から11月の間、苗の植栽、水やり、草取り、花がらつみ等の作業を実施した。	280	224	280	224	282	224	補助率0.8
8	10回目	かきざき湖八重桜広場の八重桜植樹事業	ガンバ米山	かきざき湖八重桜広場を柿崎区の新たな桜の名所として観光資源につなげていくため、新たに30本の八重桜を植樹した。また、八重桜の手入れ、草刈り、電気柵の設置・撤去など環境整備を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、観桜会を中止した。	427	341	427	341	427	341	補助率0.8
7	新規	猿毛城址登山道整備事業	柿崎まちづくり振興会	多くの人から猿毛城址を認識し登ってもらうとともに、黒川・黒岩地区住民から地区の歴史・観光資源の再認識と環境整備・保存の意識を高めてもらうため、猿毛城址登山道と山頂の伐木・刈り払いを行った。	990	990	990	990	990	990	補助率1.0
9	8回目	密蔵院周辺の整備および米山登山道古道整備事業	米山と密蔵院を結ぶふれあいパークの会	地域の活性化と環境美化を図るため、上越地区随一の彫刻を有する密蔵院護摩堂周辺の整備や、米山山頂へ続く米山登山道古道の定期的な清掃、草刈り、倒木処理、沿道のアジサイ・つつじの世話をを行った。また毎月1回、古道を歩く会を開催し、古道に咲く花々を鑑賞しながら参加者の交流を図った。	235	187	235	187	247	187	補助率0.8
10	新規	生涯スポーツ・ポッチャ普及事業	柿崎まちづくり振興会	高齢者や障がい者・子どもの体力に合ったポッチャの普及を図ることにより、障がい者を含めた世代間交流、町内会単位の交流等を深め、スポーツ年齢の拡大と地域の活性化につなげた。11月13日、11月20日、11月27日に、4会場で普及講習会を開催した。	423	422	423	422	423	422	補助率1.0
11	12回目	柿崎まちづくりカレンダー作製事業	柿崎まちづくり振興会	柿崎区内の各行事への参加意欲を高めるとともに、地域の一体感の醸成や家庭でのコミュニケーションづくりに寄与するため、行政や関係機関、地区、町内会、保育園、学校等の主な行事を掲載したカレンダーを3,650部作製し、柿崎区の全世帯、保育園、学校、事業所等に配布した。	850	500	850	500	887	500	補助率0.8
13	11回目	柿崎夕日フェスティバル事業	柿崎夕日フェスティバル実行委員会	交流人口の増加と地域の活性化のため、8月22日に柿崎マリンホテルハマナス駐車場で、上下浜小学校児童によるマーチングバンドの演奏と地元住民のフラダンスの発表を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。	106	84	106	84	106	84	補助率0.8
12	3回目	柿崎区農業の未来を考えるための地域ビジョン策定事業	柿崎農業の未来を考える会	農業者・非農業者世帯の方々の農業に対するイメージを調査・分析し、農業地域ビジョンを策定するため、「柿崎の農業に関するアンケート調査」を実施した。今年度は、2集落の101世帯、271人にアンケートを依頼し、57世帯、132人から回答を得た。回答結果を集計し、その結果を対象集落へ回覧した。	461	368	461	368	469	368	補助率0.8
14	新規	バレーボール普及活動事業	柿崎JVC	小学生女子児童を対象に低学年からバレーボールに親しみ、地域の子どもたちに普及を図るとともに、マナーや協調性・助け合いなど子どもの健全育成に寄与するため、ジュニアバレーボールクラブを立ち上げ、ユニホームを整備した。また、週3回練習を行い、練習試合や各種大会に参加した。	155	89	155	89	149	89	補助率1.0
柿崎区への配分額 7,100千円 (実績報告後の残額 181千円)					8,605	6,937	8,605	6,937	8,549	6,919	

令和4年4月19日

柿崎空き家活かそうプロジェクト 中間報告書

柿崎空き家活かそうプロジェクト
委員長 蓑輪 和彦

柿崎区内の空き家の現状や近隣自治体の取組事例を調査し、地域活性化のための空き家の利活用を検討するため、令和2年10月29日に「柿崎空き家活かそうプロジェクト」を立ち上げました。13回の会議での検討のほか、建築住宅課から市の空き家対策の説明を受け、移住者との意見交換や先進地視察等を実施し、柿崎区の特性に適した空き家の利活用の検討を進めてきました。任期前期の期間で結論が出せませんでしたでしたが、検討の経過と今後の取組の方向性を報告します。

1 地域活性化に向けた空き家利活用の検討

令和2年10月29日に第1回会議を開催し、活動の目的と活動内容を決定しました。

- (1) 目標：柿崎区内の空き家の現状や近隣自治体の取組事例を調査し、地域活性化のための空き家の利活用を検討する。
- (2) 活動内容：①近隣市町村の空き家対策を知る。
②市が実施している空き家対策を知る。
③柿崎区の空き家の現状を把握する。
④空き家の活用について地域住民と懇談の機会を持つ。

2 上越市の空き家の実態やその対策を学ぶ

令和2年11月29日、「第2期上越市空き家等対策計画（案）」を基に、建築住宅課から市の空き家対策の説明を受けました。

- (1) 対策の基本：「適正管理」、「利活用」、「予防」
- (2) 支援制度：空き家の取り壊しの支援
空き家の管理の支援
移住定住に対する補助金
空き家情報バンク
- (3) 空き家情報バンク登録推進の課題
- (4) 令和2年度末の認定・判定状況

地 区	認定・判定済数			
		特定空き家等	管理不適切	経過観察
柿崎区	212	18	49	145
大潟区	262	15	65	182
頸城区	232	11	45	176
吉川区	298	21	111	166
13区計	1,769	139	475	1,155
合併前上越市	1,265	128	301	836
合 計	3,034	267	776	1,991

3 移住者と意見交換し柿崎の思いを聴く

令和3年3月12日、県外からの移住者3人と意見交換を実施し、柿崎区の特徴、移住されての感想、思いを聴き、空き家の活かし方の参考としました。

○移住、定住化施策のポイントは次の3点

- ・住居（空き家）の整備
- ・地域（町内）の支援
- ・生活の糧となる仕事の確保

4 古民家カフェ矢代と山のホームサを視察

空き家を活用した地域の交流や、空き家情報をはじめ地域の話題等の情報発信の拠点づくりが必要と考え、妙高市矢代地区及び牧区高尾の古民家活用の取組を視察し、その経緯、空き家の改修内容と財源、施設運営の現状、課題等を学びました。

(1) 視察日：令和3年9月17日

(2) 視察先

①古民家カフェ矢代（妙高市志 746-1）

小学校閉校に伴い、地域の絆を維持するための活動の拠点として古民家を譲り受け、「矢代古民家活用の会」を立ち上げ、令和2年11月にカフェをオープン

②山のホームサ（牧区高尾 451）

「お茶飲み散歩」の終了に伴い、高尾に多くの人に来てもらいたいという思いから貸しスペースに改装し、令和3年8月にオープン

(3) 参加した委員の主な感想

- ・地域を元気にしたいという思いで活動していた。
- ・ボランティアで空き家を改修している。その力に驚いた。
- ・古民家の持つ力を見極め、その力を引き出し生かしている。

5 検討のまとめ

これまでの検討を踏まえ、今後の活動に向けて次とおりの論点をまとめました。

- (1) 空き家の利活用の前提として、空き家の実態を把握が重要であることから、柿崎区内の空き家に関するさまざまな情報を入手するための取組を検討する。
- (2) 空き家の利活用を促すための各種支援制度の周知を充実・強化する必要があるため、ホームページや広報紙以外に新たな情報発信手段を検討し行政に提案する。
- (3) 空き家の利活用を推進するには、空き家の情報を求める人に適時、適切に提供する必要がある。そのため、情報を求める人に空き家や利活用の各種支援制度の情報を提供するほか、空き家を貸したい・売りたい人と借りたい・買いたい人との仲介をするなど、空き家の利活用に関してさまざまな支援を行う拠点の整備を検討する。

6 任期後期の取組内容

必要に応じて町内会長連絡協議会や柿崎商工会などの各種団体と協力・連携し、地域活性化のための空き家の利活用に向け、任期後期の期間において、次の5項目の活動に取り組みます。

- (1) 移住者の聴き取りの実施
- (2) 町内会長へのアンケートの実施
- (3) 空き家活用支援策チラシの作成・周知
- (4) 具体的な空き家活用の検討
- (5) 空き家利活用希望者の意向把握の実施

柿崎空き家活かそうプロジェクト 会議記録

日時	令和4年3月24日(木) 18:00～19:30	出席者	蓑輪委員長、吉井会長、片桐(充)委員、 小出委員、中村委員、箕輪委員、
場所	柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室		
記録者	片桐(充)委員	欠席者	片桐(宏)委員
標 題	第15回 柿崎空き家活かそうプロジェクト		

○本日のテーマ

- (1) 地域の活性化を目的とした空き家利活用の具体案の検討
- (2) 中間報告について
- (3) 令和4年度の活動方針について

■協議結果

- ①町内会長へのアンケート内容と依頼文の検討
 - ・依頼文は、最後のアンダーラインの前に町内会長からチラシを送ってほしい旨の文章を入れる。
 - ・アンケート内容は、『Q3「チラシ」の送付にご協力いただけますか。』について
 1. 協力できる → Q4へ
 2. 協力できない → Q5へ
 それぞれ変更
 - ②空き家活用対策チラシの内容の検討
 - ・内容についてはほぼOK。チラシについて建築住宅課へ確認を行う。
- ※①②について、5月の地域協議会にて了承を経た後、5月の棚入れで町内会長に配布する。
- ③中間報告について
 - ・『6 任期後期の取組内容』の(4)は、「具体的な空き家活用の検討」に変更する。
 - ・「中間報告」を4月の地域協議会次第に報告事項として入れる。
 - ④令和4年度の活動方針について
 - ・取り組むべき検討課題を委員で分担し、結果を委員会で発表・検討を行う。
 - ・予算要望については、活動していく中で必要なら7月末までに予算書を提出する。
 - ・自主的審議事項の意見書は、令和5年度の間まで提出する。

○主な意見

- ①町内会長へのアンケート内容と依頼文
 - ・空き家所有者へのチラシ送付は、個人情報保護の観点から行政は出来ない。
町内会長へは、そうした事情を明記したほうが良いのではないか。
- ②空き家活用対策チラシ
 - ・市(行政)の補助金は少なすぎる。行政だけでなく民間のやり方を学ぶことが大事。
 - ・民間では、転売目的で柿崎区の空き家を購入しているケースがある。
 - ・空き家バンクを利用して購入するのは少ない。民間業者を通じて空き家を購入する
場合が多い。
 - ・山間地では、空き家バンクに登録せず、口コミで空き家を紹介するケースが多い。

③中間報告

- ・4月の地域協議会で報告事項として報告する。
- ・中間報告を各種団体（商工会・観光協会・まちづくり振興会・社会福祉協議会等）に周知して、集ってもらいテーマを空き家に絞って意見交換をする。

④令和4年度の活動

- ・5月の委員会に、建築住宅課に来てもらい市の助成制度について話を聞く。妙高市・糸魚川市の助成制度と比較して要望する。
- ・他自治体の助成制度との比較をして、情報を集約し市の取り組みを聞く。

○次回の委員会開催予定

- ・開催日時：4月26日（火）午後6時～
- ・会場：コミュニティプラザ3階 市民活動室
- ・議題：地域の活性化を目的とした空き家利活用の具体案の検討
上越市・妙高市・糸魚川市の空き家対策の取り組みについて検討
各担当委員からの報告

みんなの保育園を考える会 会議記録

日時	令和4年3月24日(木) 18:30～19:30	出席者	小山委員長、岩野委員、薄波委員、 貝谷委員、武田委員、吉村委員
場所	柿崎コンプラティプラザ 4階 A会議室		
記録者	貝谷委員	欠席者	白井委員
標 題	第2回みんなの保育園を考える会		
<p>○議 題</p> <p>委員会の今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料／資料1 柿崎区の児童数及び保育施設の概要等 資料2 保育園の主なサービス 資料3 上越市保育園の再配置等に係る計画 			
<p>■協議結果</p> <p>①委員会の名称について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長から、委員会の立ち上げの趣旨を考えると、委員会の名称を前期同様「みんなの保育園を考える会」としたいとの提案があり、全員一致で了承した。 <p>②保育園の現状や保育園のニーズの多様化、保護者等の関係者の意見聴取など、委員会の今後の進め方を話し合ったが、方向性を出せなかった（主な意見は下記のとおり）</p> <p>③令和5年度からの第4期整備計画がどのような方向で進むのか、また、第4期整備計画に搭載するには、いつまでに、どこまでまとめなければならないのか、統合の進め方や他区の事例などを市の担当者から聞き、その結果を基に委員会の進め方を再検討する。</p> <p>代表して小山委員長が保育課担当者から上記項目等を聞き取り、次回の会議において委員へ伝達する。</p>			
<p>1 現状分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族化 ・会社の給料が上がらないため、共働きが多い。 ・子どもを産みたくても産めない。 ・子どもができない。 ・子どもが欲しくない。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>■<u>少子化が進み園児数の減少により、保育園の統合及び併設が必要</u></p>			
<p>2 保育園のニーズの多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全 ・時間外保育（早朝・延長・夜間・休日保育等） ・送迎 ・近距離、通勤途中に保育園があることが理想 			

3 保護者・地域の意見聴取方法

- ・ 懇談会
- ・ 小学生、保育園児の保護者の集まりに出向いてアンケートを実施
- ・ 全戸にアンケートを配付
- ・ SNS
- ・ QRコードでスマホ読み込み

※アンケートの内容は、当委員会でまとめる。また、市の方針によって、次回アンケート内容を煮詰めていく。

4 次回の委員会開催予定

- ・ 開催日時：4月25日（月）午後7時～
- ・ 会場：コミュニティプラザ 3階 市民活動室

※日程調整の結果、下記のとおり保育課担当者から説明を受けることとした。

- ・ 日 時：4月15日（金）午後2時30分～
- ・ 会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305 会議室
- ・ 出席者：保育課 渡邊副課長、丸山係長
柿崎区地域協議会 吉井会長、小山委員長
事務局